

2010年 3月26日

各位

三菱倉庫株式会社

三菱倉庫グループ 新・中期経営計画 [2010-2012] の策定について

当社は、昨今の経済情勢や事業環境の激変を踏まえ、現行の中期経営計画（2006年度から2010年度の5カ年計画）を見直し、2010年（平成22年）4月からスタートする3カ年の新たな中期経営計画を策定しました。これは、多極化が進む新しいグローバル化時代において、国内外一体のロジスティクス事業の拡充のほか、ビル賃貸を中心とする不動産事業の拡充等により、当社グループの持続的な成長を図るものであります。

1. 基本方針

- (1) グローバル化に対応した、国内外一体のロジスティクス事業の拡充
- (2) 経営安定の観点からの不動産事業の拡充
- (3) サービスの品質向上の追求
- (4) コンプライアンス、地球環境対応および防災対策の徹底

2. 基本戦略

- (1) 物流事業の事業基盤の強化
お客様から信頼を得ている高品質の在庫・入出庫管理に基づく配送センター業務や高効率のコンテナターミナル業務を拡充し、国内の事業基盤の強化を図ります。
- (2) 国内外一体となったロジスティクスサービスの拡充
グローバルに拠点間のビジネス・パイプラインを繋げ、国内外一体となったロジスティクスサービスの体制を拡充し、成長が望める中国その他のアジア地域に重点を置き物流事業の海外展開を加速します。
- (3) ビル賃貸を中心とする不動産事業の拡充
ビル賃貸を中心とする不動産事業を拡充するため、所有施設の機能の維持・向上やプロパティ・マネジメントの強化を図り、所有地の再開発を計画的に進めるほか、新規の資産取得を含めた新たな戦略を検討します。
- (4) 地球環境対応の強化
地球環境対応は、企業の社会的責任だけでなく、物流、不動産の両事業の拡充のビジネス・チャンスと捉え、地球環境対応に優れたサービスの創出等による競争力の強化を図ります。
- (5) 経営基盤の強化
 - ・コンプライアンスの徹底を図り、危機管理体制を強化します。
 - ・専門性と国際性を有する要員の育成を進めます。
 - ・ITの活用等によりサービス品質の向上を追求します。
 - ・グループ会社が担う機能を強化して、グループの総合力を高めます。

三菱倉庫株式会社

東京都中央区日本橋一丁目19番1号

3. 計画期間・業績目標

(1) 期間

2010年度～2012年度（3カ年）

(2) 業績目標（2012年度。連結）

営業収益 1,930億円
営業利益 135億円
経常利益 143億円
当期純利益 79億円

(参考)2012年度目標と2009年度予想との比較

連結業績数値

(単位:億円)

		2009年度 (H21年度)	2012年度 (H24年度)	2009/2012年度比	
				増減額	増減率
営業収益	合計	1,465	1,930	+465	+32%
	物流事業	1,107	1,525	+418	+38%
	不動産事業	372	420	+48	+13%
	セグメント間取引	-14	-15	-1	-
	セグメント比率	75:25	78:22	-	-
営業利益	合計	100	135	+35	+35%
	物流事業	32	54	+22	+69%
	不動産事業	109	123	+14	+13%
	全社費用	-41	-42	-1	-
	セグメント比率	23:77	31:69	-	-
経常利益		110	143	+33	+30%
当期純利益		58	79	+21	+36%

(注)2009年度(H21年度)は第3四半期末発表予想数値

4. 投資計画

期間中に総額約530億円(物流250億円、不動産250億円、地球環境対応30億円)の投資を予定しております。

以上

本ニュースリリースに関するお問合せ先：

TEL：03-3278-6731 広報室 吉本、篠原